

変更理由書

【事業の概要】

県道金沢伏野線（金沢工区）歩道設置事業は、金沢ふれあい公園からつづら尾に至る歩道の未整備区間について、歩道を新設し歩行者等のアクセス向上を図るものである。

【当初計画】

当初、歩道の設置方法として、現道の池側に鋼製の張出歩道を新設することとして計画し、平成２９年３月に景観評価を行った。

【変更計画】

当初計画した鋼製の張出歩道については、湖山池の塩分による腐食、河川断面への支柱の設置に伴う維持管理上の懸念があることから、材質のコンクリート製への見直しについて検討を行うこととなった。

検討の結果、コンクリート製の張出歩道では、鋼製のものより構造物が大きいため、現道を大きく嵩上げする必要があり、実現困難との判断に至ったことから、山切りを行い、山側を拡幅することにより歩道の幅を確保する方法に変更することとなったもの。